

「三嶺防鹿柵設置活動」 (三嶺の森をまもるみんなの会・高知中部森林管理署主催)

日 時： 平成 30 年 10 月 13 日 (土)

場 所： 高知県香美市三嶺 (カンカケ谷周辺)

内容

シカの食害によって大きなダメージを受けた三嶺の森は、シカ捕獲活動の効果が徐々に表れ、場所によっては植生の回復の兆しを感じられるようになりました。

しかし、多くの場所では裸地の状態、あるいはシカの嫌いな植物のみが繁茂するといった、もとの森とは全く異なった状態が続いています。

三嶺の森をまもるみんなの会と高知中部森林管理署では、三嶺周辺で森とササ原を鹿の食害から守るために防鹿柵を設置しています。また、食害のため裸地となった場所には、土砂流出防止マットを設置して植生を回復させる取組を行っています。

当日は、親子や学生、流域の行政機関の参加者も含めて約 90 人で三嶺のカンカケ谷周辺の希少植物を保護するため、防鹿柵の設置作業を行いました。

〈当日の様子〉



防鹿柵進入防止ネット張り作業



防鹿柵進入防止ネット張り作業